



受賞作品 | 理科部門

〈総評〉

今年の応募総数は263件で、昨年度に比べておよそ26%の増加となりました。理科分野への関心の高まりを強く感じる結果です。

今回の応募作品では、幼いころから研究に親しみ、長期的にひとつのテーマを追いつけているケースが目立ちました。また、毎年テーマを変えながらも、探究することそのものを楽しみ、着実に研究の質を高めている児童・生徒も多く見られ、大変良い傾向だと感じます。

身近な疑問をきっかけに研究テーマを設定している作品が多く、なかでも受賞に至ったものは、研究過程が非常に緻密で、実験内容にも確かな科学的視点と工夫が感じられました。

一方で、惜しくも受賞には届かなかった作品の中にも、環境問題や社会課題などと真剣に向き合ったものが数多く見られました。これらの課題を「どうすれば解決できるか」という視点からさらに掘り下げていくことで、今後ますます優れた研究が生まれていくことを期待します。

日常の中の“なぜ？”を大切にし、次の発見へとつなげていく皆さんの探究心を、これからも応援しています。



文部科学大臣賞

「唾でもつけとけば治る！」は本当か？！
おばあちゃんの知恵袋に科学の力で挑む！
台湾 台北市立新生国民小学 4年
多田 伊織



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

ヒートアイランド現象を食い止める
折り紙の技術でつくる冷える建物
東京都 港区立御成門学園御成門小学校 6年
濱 錦輝



全国小学校理科研究協議会 会長賞

乳化の研究～あんしんおさかなクレヨンで
世界をつなぐ～
東京都 墨田区立緑小学校 6年
中村 純怜



全国小学校理科研究協議会 会長賞

アメリカザリガニほかく大作戦その2
～CTB誕生物語～
東京都 聖徳学園小学校 3年
余語 瑞幸



全国中学校理科教育研究会 会長賞

おいしいお水ができるまでPARTIX
～花崗岩の成分にせまる～
新潟県 新潟市立光晴中学校 3年
来迎 一彰



中央出版株式会社 社長賞

中学までに足クサを克服しろ！
～足が臭くなる理由を探究する～
愛知県 東郷町立東郷小学校 6年
安原 悠真



優秀賞

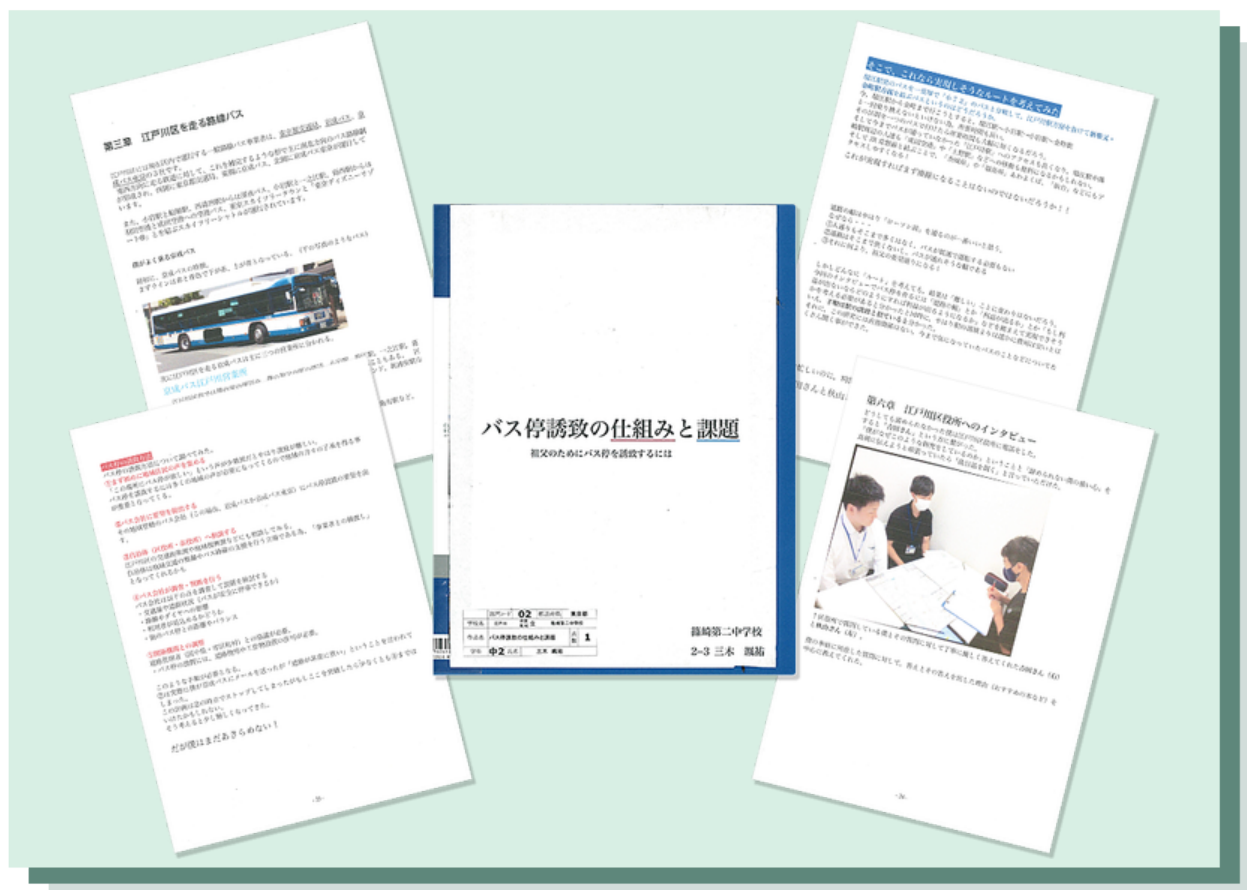
道草ってどんな味？～ぼくの草花
大さくせんパート2～
山形県 鶴岡市立朝陽第三小学校 4年
佐藤 真

長さにおける目測精度の実験
～ヒトの目は定規の代わりになる？～
東京都 中野区立中野東中学校 1年
浅利 柚樹

文部科学大臣賞

「唾でもつけとけば治る！」は本当か？！ おばあちゃんの知恵袋に科学の力で挑む！

多田 伊織 | 台湾 台北市立新生國民小學 4年



〈選考理由〉

タイトルにある『「唾でもつけとけば治る！」は本当か』という素朴な疑問を、科学の力で検証しようとした着想がとてもユニークです。思いつきで終わらせず、実際に培養実験を行い、根拠を確かめようとした行動力が光ります。

また、周囲の大人に積極的に質問し、台湾に住んでいるという環境を生かして28か国の人々に調査を行うなど、広い視野でデータを集め結果の信頼性を高めている点も見事です。単に結果をまとめるだけでなく、研究の過程で得られた興味深い事実を整理して別途報告している点にも、伊織さんの探究心の深さが感じられます。

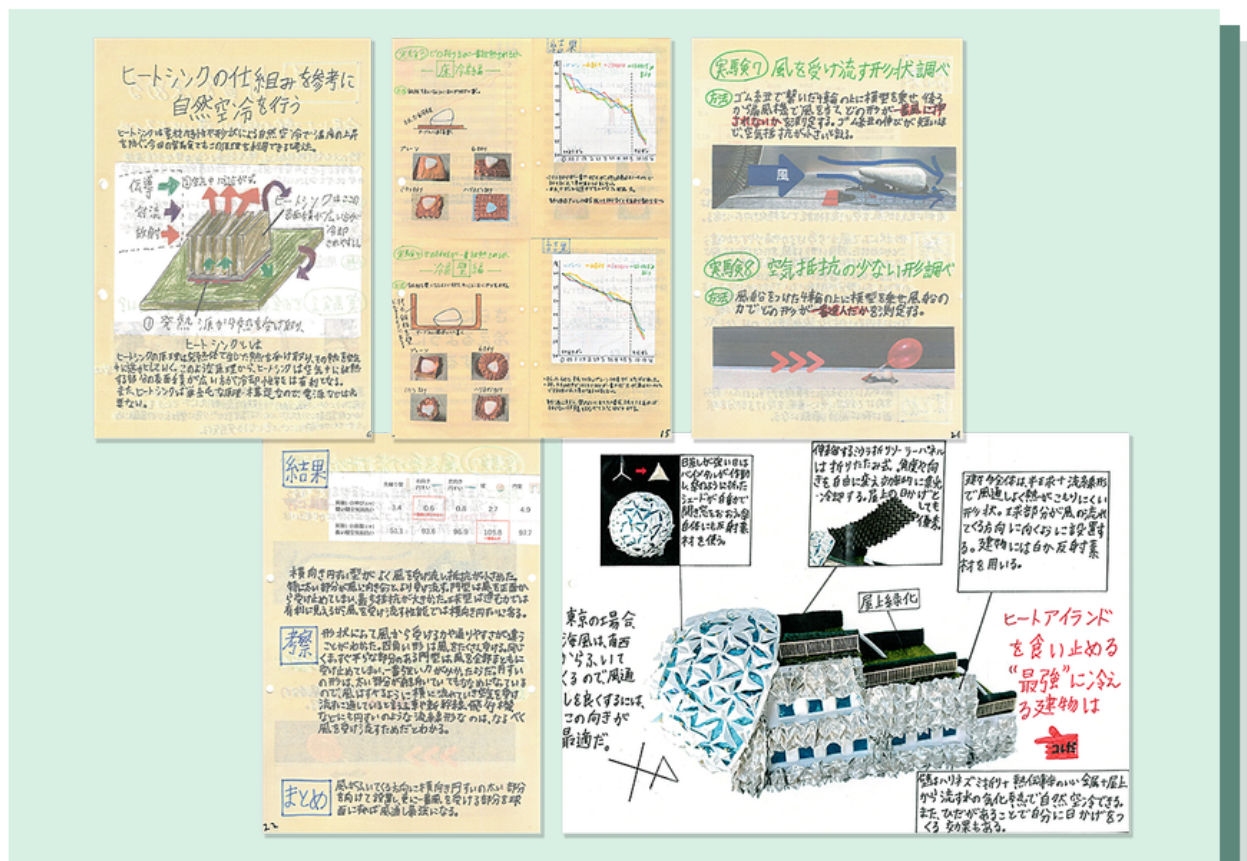
さらに、失敗を隠さず丁寧に記録し、そこから新しい実験を試みている点は、科学を発展させていく時の姿勢としてとても立派です。研究の記録や考察も具体的で説得力があり、科学研究の基本をしっかりと踏まえています。

今後もこの旺盛な好奇心と粘り強さを大切にしながら、身近な疑問を科学の力で解き明かしてってください。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

ヒートアイランド現象を食い止める 折り紙の技術でつくる冷える建物

濱 錦輝 | 東京都 港区立御成門学園御成門小学校 6年



〈選考理由〉

「大好きな折り紙」という錦輝さんの得意分野を生かし、身近な環境問題であるヒートアイランド現象の解決に挑むという発想がとてもユニークです。得意なことを科学研究につなげる視点は、まさに科学の探究の原点といえるでしょう。

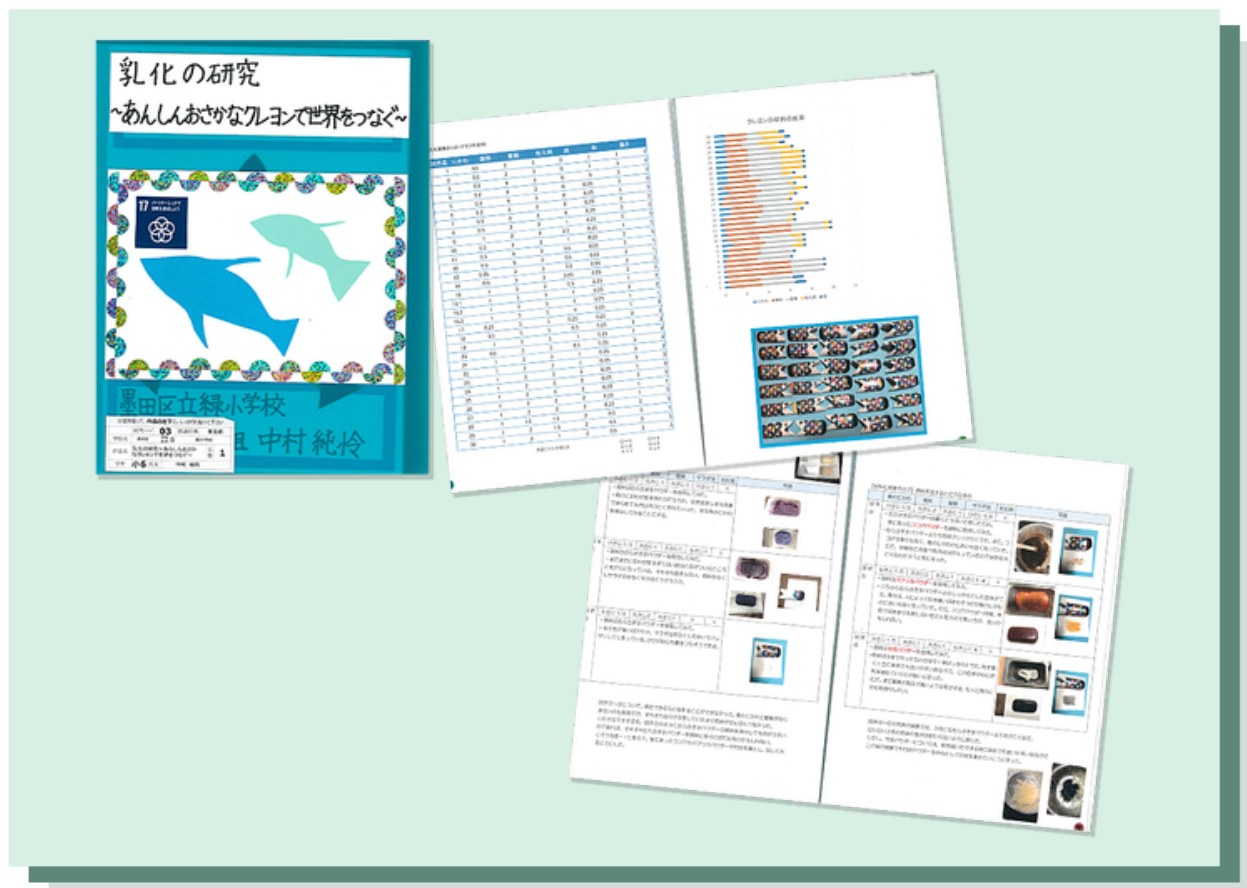
実験では、材質や折り方、色、形、さらには窓の工夫など、さまざまな条件に基づいて、熱をより効果的に防ぐ方法を繰り返し検証しています。探究のプロセスが非常に丁寧で、都度生まれた疑問を次の実験につなげる姿勢からは、実験そのものを楽しむ純粋な好奇心が感じられます。

最終的に「建物をこうしたら最も冷える」という結論に至った過程も明快で、研究としての完成度が高いです。自分の得意分野をもとにしながら、新たな発想を広げていく姿勢を今後も大切にしてほしいと思います。折り紙の技術から生まれる新しい環境対策の可能性に、大きな期待を感じました。

全国小学校理科研究協議会 会長賞

乳化の研究～あんしんおさかなクレヨンで世界をつなぐ～

中村 純伶 | 東京都 墨田区立緑小学校 6年



〈選考理由〉

ブルネイでの交流を通して生まれた着想をもとに、「未利用魚の活用」と「ムスリムの人々も安心して使える製品づくり」という二つの社会的課題を結びつけた発想がすばらしいです。単なる理科実験にとどまらず、異文化理解や社会貢献の視点を持ちながら研究を進めている点に、探究者としての純伶さんの成熟した視野が感じられます。

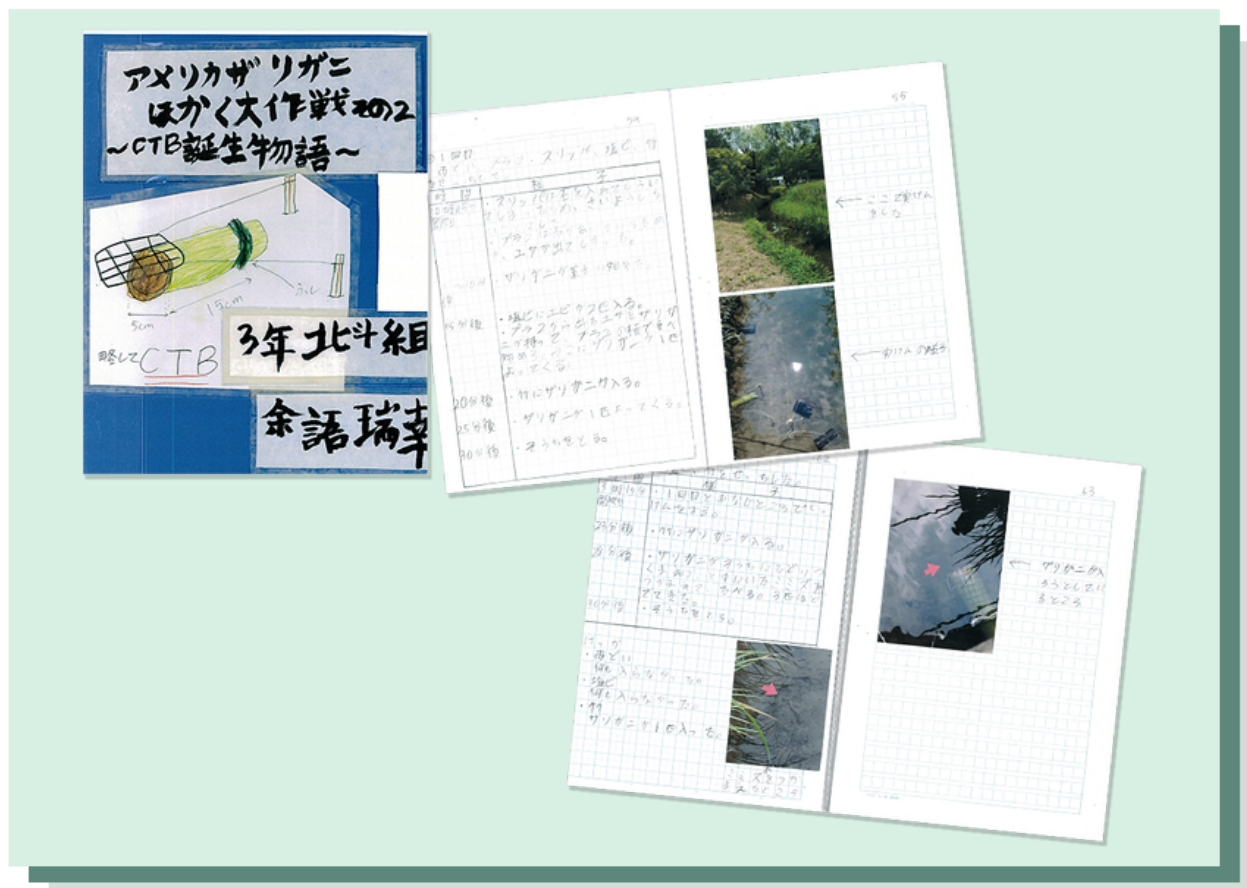
また、実験において「思うように“にかわ”が顔料となじまない」という問題に直面した際、「乳化」という科学的概念にたどり着いたことは、この研究の大きな成果といえるでしょう。困難をきっかけに新しい学びを得て、研究を深めている姿勢が見事です。

30回にもおよぶ試作を経て、「魚の“にかわ”を使った、口に入れても安全なクレヨン」という目標に一步近づいた点は、粘り強い努力のたまものです。課題を明確に見据え、次のステップへとつなげている点も高く評価できます。今後もこの柔軟な発想力と行動力を生かして、「あんしんおさかなクレヨン」の完成を目指してほしいと思います。

日本初等理科教育研究会 理事長賞

アメリカザリガニほかく大作戦その2 ～CTB誕生物語～

余語 瑞幸 | 東京都 聖徳学園小学校 3年



〈選考理由〉

アメリカザリガニを捕獲するための装置を、自分で工夫してつくり上げたすばらしい研究です。瑞幸さんは昨年から2年にわたってこの研究に取り組んでいます。前回の課題をしっかりと振り返って今年の研究につなげている点に、科学的な探究心の高さを感じました。

生き物を扱う研究として命への配慮がきちんとあり、研究者としての誠実な姿勢にも感心しました。また、アメリカザリガニが生態系に悪い影響を与える外来種であることを知り、環境に役立つ装置を自分の手でつくろうとした意欲もすばらしいです。装置づくりには身近な道具を使い、実験も何度もくり返してデータを集めるなど、丁寧な努力のあとが見られます。

環境問題という大きなテーマを、自分なりの視点で掘り下げ、楽しみながら研究している様子が伝わり、読んでいてとても気持ちのよい作品でした。これからもぜひ、自分の「気になる！」を大切に、研究を続けていってください。

全国中学校理科教育研究会 会長賞

おいしいお水ができるまでPARTIX ～花崗岩の成分にせまる～

来迎 一彰 | 新潟県 新潟市立光晴中学校 3年



〈選考理由〉

小学校1年生のときから「おいしいお水」について研究を続けてきた一彰さん。9年間にわたり、“探究の道”を歩み続けている姿勢に深く感動しました。その積み重ねによって、ついに花崗岩の成分に着目し、全国各地をめぐる実地調査を行った行動力と継続力は圧巻です。

調査場所の選定にも無駄がなく、地形や地層、水脈などを分析したうえで目的をもって調査を行っている点が見事です。単に水の性質を調べるだけでなく、「なぜ自分はその水をおいしいと感じるのか」という視点から脳波の研究にもつなげようとしている点には、研究の奥行きを感じます。

毎年の調査を重ねる中で、季節による水温の違いまで考察し、カリウムやケイ素などの成分にまで踏み込んでいる点は、卓越した探究の姿勢といえるでしょう。学会にも足を運び、学びを実地に生かしている熱意も素晴らしいです。

長い年月をかけて追いつけてきた「おいしい水の真理」に、これからどんな答えを導き出すのか。今後のさらなる研究の発展を心から楽しみにしています。

中央出版株式会社 社長賞

中学までに足クサを克服しろ！ ～足が臭くなる理由を探究する～

安原 悠真 | 愛知県 東郷町立東郷小学校 6年



〈選考理由〉

一見ユーモラスなテーマでありながら、「なぜ足が臭くなるのか？」という誰もが共感できる疑問を、科学的に掘り下げて探究した発想が素晴らしいです。におい計測器やアプリを用いて、サンダル・靴下・気温・天気・運動後など、さまざまな条件で足のにおいを測定している点に、実験設計の丁寧さと悠真さんの根気強さが感じられます。

資料のまとめ方もわかりやすく、見る人を引き込む工夫があり、研究を「伝える力」にも優れています。単に「いつ・どのようなときに臭うか」を調べるだけでなく、その原因を突き止めたうえで「どうすれば臭わなくなるか」という実践的な対策にまで発展させている点も見事です。

さらに、効果の薄かった対策を振り返って理由を考察し、効果の高かった方法を組み合わせて最終的に“足クサ克服”を達成した研究の構成は非常に論理的。身近な課題に着目し、豊かな好奇心で解決へと導く姿勢を今後も続けていってほしいと思います。